

LAIマスター制度プロジェクトについて

精神科認定看護師 若松健也

※LAIとはLong Acting Injectionの略で統合失調者などの治療で用いられる、お薬の効果が長く続く注射のことです。持効性注射剤といい、1回の注射で数週間～3か月にわたり効果が続きます

当院では、2019年「LAIマスター制度プロジェクトチーム」を発足しました。このプロジェクトは、看護師が医療チームの一員としてあと一歩精神科治療に参画できること、また看護師の薬物療法における知識、スキルの向上を目的としています。LAIマスターの認定試験に合格した者が、患者さんにLAIを実施することができる制度です。現在まで計29名がLAIマスターに合格し、年間500回以上のLAIを実践しています。

【1.LAIマスター認定研修について】

研修は電子カルテに保存した動画や資料を各自自己学習します。

【2.LAIマスター認定試験について】

筆記試験は5択式で認定研修の資料から出題します。安全な注射手技に関するもの、精神科薬の効果、副作用のモニタリングの知識など多岐にわたります。実技試験は、担当医師からの実技指導を受けた後、試験官の前で実際に注射をしてもらいます。試験官は安全面やプライバシーへの配慮などの項目をチェックし、必要時その場で助言します。

【3.合否について】

筆記試験、実技試験の結果を総合的に評価して合否を決定します。

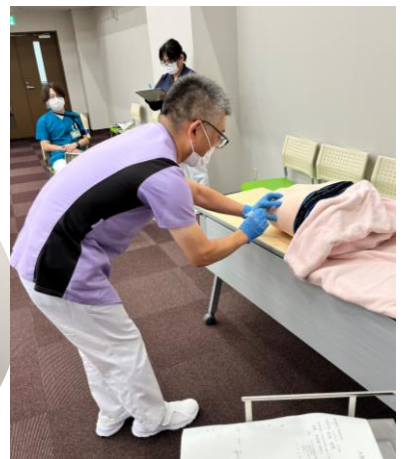
筆記試験



実技指導



実技試験



認定シール



今後、飲み薬からLAIに切り替える患者さんは増加していくと思われます。私たちは医師と協働しながら患者さんが安心して注射を受けられるよう、今後も学習を続け技術を向上していきます。